

優雅で壮大な建築の傑作

水原華城



故宮とは一味違う趣

華城行宮



歴史

歴史の息吹に沿って歩く時間旅行

優雅で壮大な建築の傑作 水原華城

水原華城とは？

水原華城は、朝鮮時代の改革君主である正祖大王の夢が込められた城郭であり、韓国城郭建築史上、最も独歩的な姿を誇っています。日本植民地時代と韓国戦争を経て、多くの部分が破損されたが、築造状況を詳細に記録した世界記録遺産『華城役役軌』に基づいて、1975年から保守・復元し、1997年にその優秀性が認められ、ユネスコの世界遺産に登録されました。

これほど美しい水原華城をどのように見て回ればよいのでしょうか？

水原華城は水原の中心部に位置しており、長さは約5.7キロで、城郭に沿って歩けます。水原華城のすばらしさを楽しむ方法は様々です。孝心と愛民精神の深かった正祖大王の息吹に沿って城郭をゆっくりと歩いてみたり、土木建築の白眉ともいえる丁若鏞(チョン・ヤギョン-水原華城の設計者)のずば抜けた科学技術に集中してみても良いでしょう。ただ歩くだけでなく、まぶしい芸術性と美しい景観を満喫できるところ、どの地点から歩き始めても一つに繋がる道の上で、一風変わった趣をお楽しみください。

故宮とは一味違う趣、華城行宮

華城行宮とは？

孝心の深かった正祖大王は、父親である莊憲世子(思悼世子)のお墓を鰲隆園(現在の隆陵)に移して水原新都市を建設し、水原華城の城郭を築造する際に華城行宮も設置しました。華城行宮は華城の中に位置しており、朝鮮行宮のうち、規模や機能の面では断然トップとされています。普段は水原部官衙として使用されたが、正祖大王のお越しの際は、華城行宮に滞在しながら、進饌・進宴および科擧試験など、様々な行事を開催しました。しかし、日本植民地時代に洛南軒を除く施設が日本の民族文化と歴史抹殺政策により消滅しました。

1996年に第1段階の復元工事が開始され、2003年10月に一般公開されており、現在も復元工事が行われています。最近では、韓流の中心地として、「宮廷女官チャングムの誓い」、「イ・サン」、「王の男」、「グルミグリーン月光」など、映画やドラマでも華城行宮の美しさを盛り込んでいます。



水原華城の花、決して見逃せない最高のスポット



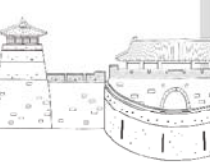
重要などろを見て回る **F3・F2・B4・D2**
[4大門]
東の蒼龍門/西の華西門/南の八達門/北の長安門
水原華城に出入りする4つの関門で、このうち八達門と長安門は、それぞれ南北の正門であり、東西には蒼龍門と華西門があります。



絶景スポット **水門** **E2・C4**
華虹門(北水門)/南水門
水原華城を横切って流れる水原川の北と南に建てられた2つの水門です。特に華虹門とその近くにある訪華随柳亭と龍淵は、優れた建築美で水原華城でも有数の絶景と言われているところでは。



市内を一目で眺望 **将台** **F3・B2**
東将台(鍾武台)/西将台(華城将台)
将台とは軍事指揮所であり、水原華城には西将台と東将台があります。両方に共に四方に広がるものがなく、水原市内を眺望するのに最適な場所です。

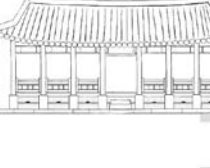


独特の建築美を満喫する **空心城** **F3・C1**
東北空心城/西北空心城
空心城とは、兵士が中に入って敵の様子を探るために作られた建築物であり、韓国では唯一水原華城で見ることが出来ます。特に西北空心城(宝物第1710号)は、築造当時の原形を保っており、建築学的にも優れた施設です。

隅々まで異なる魅力、華城行宮を歩き回る **C3**



新豊楼
華城行宮の正門であり、新豊とは「王のもう一つの新しい故郷」という意味で、正祖大王が水原華城を故郷のように思っていることを意味します。1795年には正祖大王が参内する中、新豊楼の前で貧しい人々に米を配り、おかゆを作ったことで母親である惠慶宮洪氏の遺願のお祈いを行いました。



奉養堂
華城行宮の正堂であり、正祖大王はここで母親である惠慶宮洪氏の遺願のお祈いを行いました。



洛南軒
洛南軒は日本植民地時代にも毀損されず、原形のまま保存された建築物です。正祖大王はここで特別科擧試験と養老宴を行いました。



老來堂
老來堂は、正祖大王が王位から退いた後、老後の生活を夢見て建てた建物です。



華寧殿 **C2**
華寧殿は正祖大王の御眞(肖像画)を仕えるために純祖元年に建てた建築物です。華城から「華」の字と「詩経」の「靡てきて両親の安否を尋ねる(歸寧父母)」という句節から「寧」の字を取って名付けた場所です。華寧殿は正祖大王の意に従って、質素ながらも品格のある建物で、朝鮮時代を代表する影絵です。

コース

一味違うコース別に楽しむ思い出の旅



物語

物語に沿って歩く文化の旅



知れば知るほど魅力的な旅行、水原華城の文化観光解説士

水原華城と華城行宮には知らずに通り過ぎるにはありまにももったいない興味深い物語がいたるところに秘められています。文化観光解説士の手助けを借りれば、歴史的、科学的、芸術的な価値を発見できるのももちろん、興味深い物語で一味違う魅力まで発見できます。

- ▶場所: 水原華城のいたるところにある観光案内所で申し込み可能
- ▶時間: 10:00-16:00 [12:00-13:00を除く]
- ▶所要時間: 各案内所ごとに40分-60分
- ▶人員: 4人以上の観覧客
- ▶解説案内所
華城行宮: 031-228-4480
長安門: 031-251-4514
華西門: 031-207-7985
- 西将台: 031-228-2764
武台: 031-228-2763

※20人以上の団体観覧客は水原文化財団のホームページを通じて事前受付

路地ごとに秘められたストーリーに沿って 行宮洞の王の路地を旅する

行宮洞には水原の歴史と文化遺産が町のいたるところに息づいています。路地解説士の案内に沿って、隅々に隠れた町のエピソードと昔話を聞きながらゆっくり歩くと、まるでタイムスリップしたように、過去と現在を行き来する一味違う気分を味わうことができます。

- ▶申し込み: 水原文化財団のホームページを通じて必ず事前予約が必要
- ▶時間: 10:00-15:00
- ▶所要時間: 各コースごとに60分
- ▶人員: 5人-15人
- ▶お問い合わせ: 031-290-3615